

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-96	小学校	社会	社会	4年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	社会 408	小学社会 4年		

1. 編修の基本方針

『小学社会』は、一貫して掲げてきた「人間尊重」の理念を基本に、主権者として社会と自分自身との関わりを主体的に考え、取り組んでいこうとする子どもたちの姿勢をたいせつにし、支援してきました。その基本理念を本教科書でも引き継ぎ、さらに発展させました。

本教科書は、教育基本法第2条の教育の目標を達成し、上記の基本理念を実現するために、以下の三つを基本方針として編修にあたりました。

『小学社会』

子どもが学びの主役となる教科書

基本方針 ①

問題解決に向け、 本気で学ぶ

主権者として自らの生き方を
問い続けながら、問題を解決
できる子どもを育てます。



基本方針 ②

主体的・対話的で 深い学びを実現する

みんなとともに考える子どもを育てます。



基本方針 ③

SDGsを自分ごと として考える

誰一人取り残さない持続可能
な社会の実現に向け、自ら考え、
行動ができる子どもを育てます。



子どもたちが学びの主役となる「問題解決的な学習」をおこなうことができます。

1 問題解決的な学習の過程をよりわかりやすく示しました。



▲ 巻頭ページ (p.2~p.3) 「社会科の学習の進め方」

● 「社会科の学習の進め方」 ページの設定

子どもたちの多様な素朴な問いから、学習問題をつかみ、追究することで考えを深め合い、解決していくという小単元の学習の流れを、図を用いて、よりわかりやすく提示しています。

本ページでは、学年を通して社会科の学習をどのように進めていけばよいのかを、いつでも確認することができます。さらに、本教科書の効果的な使い方がわかるようになっています。

● 問題解決的な学習の過程による単元構成の例 小単元「くらしをささえる水」



▲ p.56~p.57

4年 p.54~p.57 小単元導入

問題を発見する力を身につけよう

主に、身のまわりのことから問題を見出す力を身につける段階です。

学習問題

わたしたちが使う水は、どこから、どのように送られてくるのだろう。



▲ p.64~p.65

4年 p.58~p.65

問題を追究・解決する力を身につけよう

主に、学習問題についてさまざまな方法で調べ、解決する力を身につける段階です。

さらに考えたい問題

わたしたちが、毎日水を使えるのは、当たり前のことなのだろうか。



▲ p.70~p.71

4年 P.66~p.71 小単元末

問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう

主に、さらに考えたい問題について掘り下げて追究し、よりよい未来をつくるために何ができるか考え、社会にいかす力を身につける段階です。

左ページ脚注にインデックスを設け、どのような力を身につける段階の学習であるかをひと目でわかるようにしました。

基本方針② 主体的・対話的で深い学びが誰にでもできる教科書

みんなとともに話し合い、考えを深め合う社会科の学習をおこなうことができます。

1 どの子どもも見通しをもって主体的に学ぶことができるようにしました。

●「学習問題」について予想し、「学習の計画」を立てる場面の設定

一人一人の「わたし(たち)の問題」を出し合うなかで、みんなで追究したい「学習問題」をつかったあとは、「学習問題」について予想し、解決への見通しとなる「学習の計画」を立てるようにしています。



2 交流場面を随所に設定し、対話的で深い学びをおこなうことができるようにしました。

●さまざまな交流場面の設定

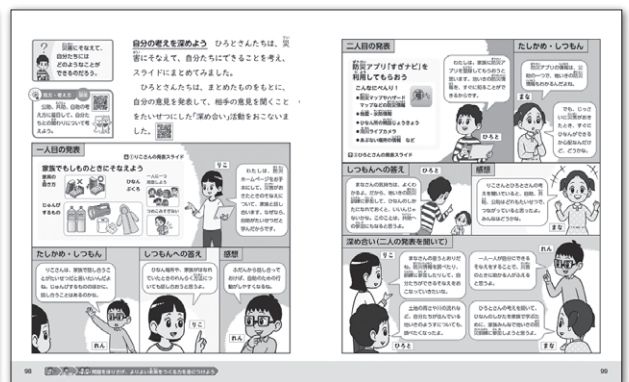
追究していくなかで、個が集団と関わりながら問題を解決する具体的な場面を、効果的に設定しています。

主な交流場面

- ①疑問から学習問題をつくる場面
- ②学習問題から予想する場面
- ③学習の計画を立てる場面
- ④学習問題について自分の考えを发表し、みんなで考える場面
- ⑤まとめた作品をもとに考えを深め合うなどして表現する場面など



▲ p.150



▲ p.98~p.99

基本方針③ SDGsを自分ごととして考えることができる教科書

誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向かって、成長していく自分を実感することができます。

1 SDGsについて具体的に調べたり、考えたりできるようにしました。

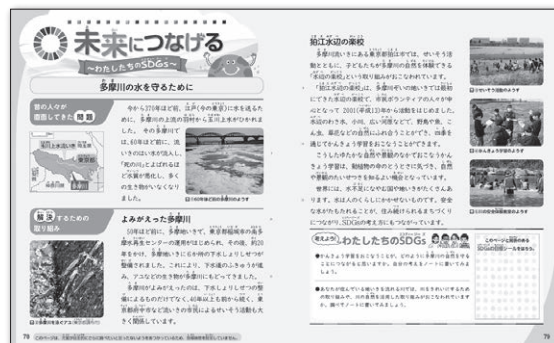
●「考えよう! SDGsコーナー」の設定



▲ p.66

SDGsに関連した内容を取り上げています。日本や世界では、今のような問題があるのか、解決するためにどのような取り組みがされているのかを調べたり、考えたりすることができます。

●特設ページ「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」の設定



▲ p.78~p.79

単元の学習を終えて、もっとくわしく調べてみたいことや、気になったことをSDGsと関連づけて取り上げたページです。巻末に綴じ込まれているSDGsの目標シールを使った学習に取り組めます。



▲ 巻末綴じ込みページ



●巻末綴じ込みSDGsの目標シール

特設ページやp.206~p.207にある「4年生の学習をふり返って」のページでは、SDGsの目標シールを使いながら、学習したことが、SDGsとどのように関連があるかを考えを深めることができます。

2. 対照表

教育基本法第2条各号に示す教育の目標を達成するために、教科書全体を通して、以下のような配慮をしました。

構成・内容	特に意を用いた点と特色	該当箇所
巻頭ページ オリエンテーション、社会科の学習の進め方、この教科書の使い方、もくじ	・巻頭ページでは、教材の配列や社会科の学び方、教科書の使い方などを、子どもにわかりやすく示しました。	表2～p.7
大単元 ◆日本の47都道府県を旅してみよう	・47都道府県の名称と位置や特色を楽しみながら調べる学習を通して、幅広い知識を身につけられるよう配慮しました。(第1号)	p.8～p.13
1 わたしたちの県 1 わたしたちの県のように	・県のように調べる学習を通して、郷土のよさを実感するとともに、郷土を愛する心を養えるよう配慮しました。(第5号)	p.14～p.27
2 健康な暮らしを守る仕事 1 ごみのしよりと活用 2 暮らしをささえる水	・かけがえのない生命のたいせつさと、環境保全の重要性に目を向け、自分たちにできることを考え、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養えるようにしました。(第3号)(第4号)	p.30～p.77
3 自然災害から人々を守る活動 1 自然災害から命を守る	・自分たちの地域が遭遇した自然災害について調べ、生命のたいせつさや防災の取り組みなどを学ぶことから、日頃から必要な備えをするなどの活動に参画しようとする態度の育成をはかりました。(第4号)	p.80～p.117
4 地いきの伝統や文化と、先人のはたらき 1 わたしたちのまちに伝わるもの 2 原野に水を引く	・地域の文化や伝統の保護や継承に関わる学習をすることで、それらをはぐくんできた郷土を愛する心を養い、自分たちの地域のよさを内外の人たちにも伝えようとする態度を養えるようにしました。(第5号) ・地域の開発に関わる人々の働きや工夫、努力に着目し、よりよい暮らしを実現しようとしてきた先人の思いや願いを調べることを通して、郷土を愛する心を養えるよう配慮しました。(第5号)	p.120～p.133 p.134～p.167
5 わたしたちの住んでいる県 1 伝統的な工業がさかんな地いき 2 土地の特色を生かした地いき 3 世界とつながる地いき	・直接調べることでできない県のように学習では、地図や各種資料の活用や収集など、多様な学習方法で、幅広い知識を身につけられるよう配慮しました。(第1号)	p.170～p.201
特設ページ 未来につなげる ～わたしたちのSDGs～	・各単元の学習内容から、子どもたちの興味・関心を発展させた多様な教材や、現代的な教育課題に対応した教材を、SDGsと関連づけて取り上げ、創造性と自主性を養えるよう配慮しました。(第2号)	p.28～p.29 p.78～p.79 p.118～p.119 p.168～p.169 p.202～p.203
巻末ページ 4年生の学習を振り返って どんな力が身についたのかな 5年生へ向かって	・巻末ページでは、学年を通して学んできたことや身についた力を振り返るとともに、次学年に向けての見通しがもてるよう、子どもにわかりやすく示しました。	p.206～p.211

3. 上記以外に特に意を用いた点と特色

(1) 現代的な諸課題への対応

●ICTの活用

教育のICT化に伴う、デジタルならではの学びを取り入れながら、上記の基本方針を実現できる内容となっています。

①教科書デジタルコンテンツ

- 二次元コードを示している箇所には、ICTを活用して学習を効果的に進められるように、コンテンツを用意しました。二次元コードから直接アクセスすることができます。
- 大単元導入ページ、「学習の計画」、「見学の計画」、「見方・考え方コーナー」、「考えよう! SDGsコーナー」、小単元末ページには、ワークシートを用意し、主体的・対話的で深い学びができるようにサポートしています。

②ICTを活用した学習活動



- p.201⑤
「タブレットを使って発表するようす」

- ICTを活用した学習活動を例示することで、子どもたちによる新しい学びのスタイルをサポートしています。

●道徳との関連

・「4地いきの伝統や文化と、先人のはたらき」では、地域の伝統行事や祭りの事例を具体的に取り上げて、郷土や我が国の伝統や文化を尊重し、郷土や国を愛する心を涵養しようとしてきました。

●防災・安全教育への取り組み

・「3自然災害から人々を守る活動」では、自然災害から人々を守る活動として、風水害、地震、津波、火山、雪による災害を取り上げ、災害の規模だけでなく、行政や地域での取り組みを紹介し、「自助、共助、公助」の観点で構成しています。

●平和・国際理解教育への取り組み

・平和で豊かな共生社会の実現を視点に、子どもの発達の段階に応じて社会的事象を教材化しています。
・「5わたしたちの住んでいる県」では、多文化共生社会にも目を向けさせ、子どもたちがグローバル社会に対応できるように構成しています。

●環境教育への取り組み

・自然環境や生活環境について、子どもの発達の段階に応じて、自分の家庭や身近な地域から、広く地球規模の問題にまで関心を持ち、それらの問題を考えていくよう系統的に位置づけられています。

●人権・福祉教育への取り組み

・学年を通して、人権尊重を基本理念とし、共生社会をめざす姿勢をたいせつにしています。
・都道府県に密着した学習を展開することを通して、地域の人々と触れ合う活動や、人々の営みや働く姿への共感をもてる学習活動を設定し、地域に対する愛情を育てるとともに、地域の人々の願いを感じ取り、地域の一員として積極的に働きかける展開になっています。

●伝統・文化教育への取り組み

・学年を通して、都道府県のような理解を図り、郷土に対する理解と愛情を育てようとしています。
・「4地いきの伝統や文化と、先人のはたらき」では、県や市に伝わる祭りや文化財、年中行事の調査を通して、人々の知恵や願いに気づかせるようにしています。

●健康・消費者教育への取り組み

・「2健康な暮らしを守る仕事」では、健康な生活の維持と向上を図るうえで欠かせない飲料水を取り上げ、多くの人々の努力によって命と暮らしを支える水がいつでも使えるように確保されていることを明示しています。

(2) 共生社会の実現に向けた配慮

●特別支援教育への配慮

一人一人の子どもが使いやすい教科書をめざして、特別支援教育の観点に配慮しました。

カラーユニバーサルデザインに配慮した教科書



▲ p.20

一人一人の色覚の違いを問わず、多くの子どもの見やすいよう、グラフ・地図については、色調や色の組み合わせの区別だけではなく、斜線やドットなども使用するなど、細部まで配慮しています。グラフは、要素ごとに黒色の境界線を施し、確実に数値を読み取ることができます。

ユニバーサルデザインフォントを使用した教科書

従来の本文フォント

阪神・淡路大震災のこ
新聞などで報道されま



新版教科書の本文フォント

はんしん あわじ だいしんさい
阪神・淡路大震災のこ
新聞などで報道されま

本文には、誰にでも見やすく読みやすい「ユニバーサルデザインフォント (UD デジタル教科書体)」を使用しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-96	小学校	社会	社会	4年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	社会 408	小学社会 4年		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

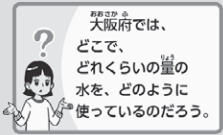
特色① どの子も本気で学べる問題解決的な学習の過程が見える教科書

本教科書は、子ども一人一人の素朴な問いをたいせつにしながら、学習問題の質的な広がりや深まりを重視しています。また、その学習問題を集団で追究・解決していくことによって、自らの考えが深まっていく過程をわかりやすく紙面上で構造的に示すことで、子どもの主体的、問題解決的な学習過程が見えるように工夫しています。この構造は、さらには、学びに向かう意欲や態度、能力などを、どの子にもつちかかっていくことにつながっていきます。

1 学習問題の質的な広がりや深まりがわかるように工夫しました。

●次の三つの要素をもとに、学習が展開しています。

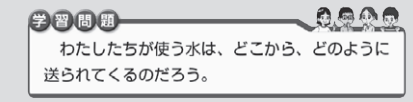
わたし(たち)の問題



大阪府では、どこで、どれくらいの量の水を、どのように使っているのだろう。

メインキャラクターの子どもが発言する、見開きページでの素朴な問いや問題です。

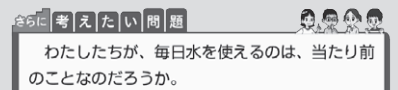
学習問題



わたしたちが使う水は、どこから、どのように送られてくるのだろう。


一人一人の「わたし(たち)の問題」を話し合うなかで焦点化され、共有される、いわゆる学級全体で話し合いたい問題のことで。

さらに考えたい問題




わたしたちが、毎日水を使えるのは、当たり前のことなのだろうか。

学習問題を解決した後で生まれた、学級全体でさらに話し合ったり、考えたりしたい問題のことで。



▲ p.56~p.57



▲ p.64~p.65

※「さらに考えたい問題」は、学習指導要領で選択・判断が求められている単元で設定しています。

2 問題解決的な学習の過程と対応した「脚注インデックス」を設定し、社会科の学習を進めるうえで、主にどのような力をつけるページかをわかるように示しました。

- 問題を発見する力を身につけよう**

主に、身のまわりのことから問題を見出す力を身につけるページであることを示しています。
- 問題を追究・解決する力を身につけよう**

主に、学習問題についてさまざまな方法で調べ、解決する力を身につけるページであることを示しています。
- 問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう**

主に、さらに考えたい問題について掘り下げて追究し、よりよい未来をつくるために何ができるか考え、社会にいかす力を身につけるページであることを示しています。

特色② 社会科で求められる資質・能力が確実に身につくように工夫された教科書

社会科で育む資質・能力が確実に身につくよう、さまざまな手だてを教科書紙面に明示し、提案できるようにしました。

1 学習問題を追究・解決する手だてとなる「見方・考え方コーナー」を設定しました。

● ものごとを見たり、考えたりするときの三つの目のつけどころについて、アドバイスしています。

見方・考え方 空間

場所による地形のちがいに着目して、岡山県の土地利用図を調べよう。

▲ p.21

わたしたちの住む土地のどこに何があるのか、その広がりや大きさなどに目をつけて、ものごとを見たり、考えたりしてみよう。

見方・考え方 時間

まずい**すずい**疏水づくりに**どひやく**努力した二人の隙いに着目して、年表を使って二人の取り組みを考えよう。

▲ p.141

昔から未来へとたえず移り変わる時間の流れに目をつけて、ものごとを見たり、考えたりしてみよう。

見方・考え方 かんけい

安全・安心な水に着目して、**かんけい**関係する人々の仕事を調べよう。

▲ p.62

人々の取り組みやはたらき、つながりに目をつけて、ものごとを見たり、考えたりしてみよう。

2 読解しやすいように、本文を学習活動・学習内容・友だちの発言の三つの役割ごとにわかりやすく示しました。

日本の女医第一号 今は、さまざまな分野で女性がかつやくする場が多くなってきています。北海道に住むひろとさんたちは、日本で最初に医者としての資格をもった女性はだれか、調べてみました。

日本の女医第一号は、**おきの ぎんこ**（本名ぎん）です。吟子は、今の埼玉県熊谷市に生まれました。16才で結婚しましたが、病気がもとで別れることになりました。

ひろと： どうして、吟子は女医になろうと思ったのかな？

- **本文(学習活動)**
どのような学習活動をするのが書かれている文章です。授業の展開や流れをつかむことができます。
- **本文(学習内容)**
写真や地図、グラフなどと同じように、疑問を解決するために必要なことが書かれている文章です。
- **本文(友だちの発言)**
友だちのわかったこと(!)や疑問に思ったこと(?)が書かれている文章です。教科書を読む子どもたちが、調べたり考えたりするきっかけをつかんだり、自分の考えと比較したりすることができます。

3 深め合い活動を通して、深い学びへ到達する子どものすがたを示しました。

一人目の発言

二人目の発言

深め合い(二人の発言を聞いて)

▲ p.48~p.49

深め合い活動では、単に考えるだけ、話し合うだけではなく、意見を二つ以上出して、その根拠をお互いに話し合い、質問や意見の交換を経てそのよさを考えていきます。この活動によって、子どもは深い学び(自分の考えを拡大し、あるいは改善し、あるいは確信する)を獲得することができます。

※深め合い活動は、選択・判断、もしくは多面的・多角的に考えることが求められている単元の「学習問題」の交流場面、または「さらに考えたい問題」の交流場面で設定しています。

特色③ SDGsと関連のある現代的な諸課題を自分ごととして捉え、その解決のために主体的に取り組めるように工夫された教科書

SDGs と関連のある現代的な諸問題について、地域の対応や取り組みを紹介し、子どもが課題を自分ごととして捉え、よりよい未来をつくるために考えることができるようにしました。

● 自然災害への備え

自治体が提供する防災アプリなど、最新の備えを紹介しています。



▶ p.91
東村山市の
防災アプリ

● 多文化共生社会に向けて

外国の人たちとともに暮らすための行政の取り組みを紹介し、地域が世界とつながっていることや、たがいの文化を理解し合う多文化共生について考えることができるようにしました。



▶ p.198
外国語で相談できる
窓口の開設

▶ p.201
G7倉敷教育大臣会合時に、
給食を食べる各国の関係者と
子どもたち



特色④ 社会科におけるICTの効果的な活用を促進し、情報活用能力を確実に育成できる教科書

二次元コードを示している箇所には、ICTを活用して学習を効果的に進められるように、コンテンツを用意しました。

● 子どもたちの主体的・対話的で深い学びをサポートする教科書デジタルコンテンツの拡充



このマークをタブレットなどで読み取ると、写真や動画、ワークシート、関連しているウェブサイトへのリンクなどにアクセスできます。

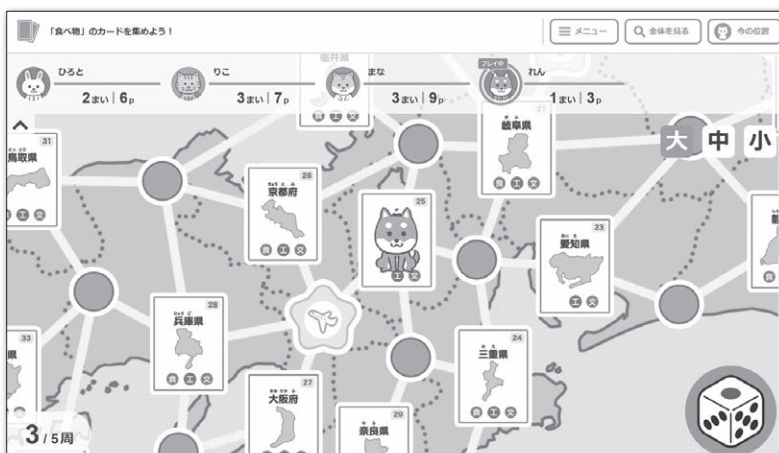
● ワークシートの充実

大単元の導入やまとめ、「見方・考え方」をはたらかせるときなど、各所で役立つワークシートを用意しました。

もやしたごみのゆくえ		組	名前
見方・考え方「関係」コーナー（教科書P.44～45）			
見方・考え方「関係」			
うめ立て場をつくるためのむずかしい問題について、いろいろな立場に着目して考えてみよう。			
☆うめ立て場をつくることに、どのような問題があるのでしょうか。			
	問 題		
建設する場所	・これから先、長い間使えるようにするには・・・		
建設する費用	・市民の税金を使うのですから、できるだけ・・・でも、かんきょうを考えると・・・		

● 47都道府県について楽しく学べるすごろくゲーム

日本の47都道府県をすごろくでめぐりながら、都道府県の位置や名称、特色に親しむことができます。



本教科書の特徴表

基本項目	準拠性	教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法第2条の「教育の目標」を達成するため、同条第1項から第5項に示されるような人格の育成をめざした教科書としています。 ・①広い知識・教養と豊かな人間性②人間尊重の精神と自主自律、勤労の精神③公正公平と公共心④自然愛護、環境保全⑤伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度と国際理解、親善の心
		学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の社会科の目標、学年目標・内容・内容の取扱いをふまえて、社会的事象を適切に教材化した単元構成としています。
内容・系統		公正性	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の選定、記述に当たっては、内容が一面的、断定的な見解に偏っていないか、広く受容されているかを十分、吟味・検証しています。
		正確性	<ul style="list-style-type: none"> ・検定基準等に照らして的確な内容であることを検証しています。
		発達の段階への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの立場からの発言や話し合い、子どものもっている力を最大限に発揮しての調べ活動や表現活動、学習内容の整理の仕方などを示唆しています。その際、人々との出会いやメディアの活用など、作業的・体験的な活動を子どもの発達の段階をふまえて位置づけています。
		配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自ら見つけ出した問題を解決するために、調べ学習などの具体的な学習活動を通して理解を深め、追究し、気づくとともに、調べたことや考えたことを表現していく過程をわかりやすいように配列しています。 ・学習対象についての情報や資料、追究過程を原則見開き2ページにまとめ、コンパクトに配分しています。
		学習意欲・主体的な学習態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・本の大きさをA B判として、図版スペースを広く取るとともに、資料や本文の読み取りがしやすいようにページ構成を工夫しています。各単元の展開ページにおいては、生き生きと活動する子どもの姿や働く人々の姿を的確に捉えた写真を掲載し、子どもの共感を呼び、学習意欲を高めるように工夫しています。 ・学級を代表する6名の子どもたちが登場して、学習活動を展開しています。その登場人物の発言や活動の様子が、学習者の追究意欲を喚起するとともに、学習活動の参考となるように配慮しています。
		多様な学習の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・既習内容をもとに解決方法を考えたり、他者の考えを振り返り話し合ったりするなど、社会科の特質を生かした主体的・対話的で深い学びをおこなう場面を積極的に取り入れています。
		言語活動の充実への手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・言語に関する能力を育成するために、国語科でつちかった言語に関する能力を基本に、観察や調査・見学などの体験的な学習や、話し合いの場面を充実させています。
その他	重点課題	現代的・社会的課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・人間尊重の精神と生命の尊重を基本に、人権・福祉に関わる内容や防災・安全に関わる内容などの現代的、社会的課題への対応を重視した教材を用意しました。
		伝統・文化の尊重と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統・文化の尊重と国や郷土を愛する態度の育成を重視するとともに、他国の文化にも興味をもたせる教材を用意しました。
		社会の持続可能な発展（SDGs）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境、貧困、人権、平和、開発など、社会の持続可能な発展に関わる問題についても、SDGsと関連させながら、子どもの発達の段階に応じて取り扱いました。
		家庭学習への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科の学習のねらいや学び方を保護者にもメッセージとして伝えるよう配慮し、学校、家庭、地域の連携を示唆しました。
		他教科、道徳、総合的な学習の時間等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の内容項目である礼儀や公德心など関連して、特設された「学び方・調べ方コーナー」で、他者との交流や公共の場での注意事項を具体的に示しています。また、4年の祭りや地域の先人の働きの学習では、学習を通して勤労や地域や社会に対する誇り、郷土愛を涵養することが期待できます。 ・「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」では、総合的な学習への関連づけとなるような学習内容を掲載しています。また、新しい教育課題に対応したSDGs関連教材も多く掲載しています。
		地域教材の活用・開発	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとって特に身近に感じられる、地域の特色を生かした地域教材の活用、開発にも配慮しました。
	ICTの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを示している箇所には、ICTを活用して学習を効果的に進められるように、コンテンツを用意しました。二次元コードから直接アクセスすることができます。 ・大単元導入ページ「学習の計画」、「見学の計画」、「見方・考え方コーナー」、「考えよう！SDGsコーナー」、小単元末ページには、ワークシートを用意し、主体的・対話的で深い学びができるようにサポートしています。 	

その他	特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> すべての子どもが等しく学べるよう、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用し、特別支援教育の観点に配慮しました。 紙面の本文が「学習内容(知識)」、「学習活動(技能)」、「友だちの発言(思考力・判断力・表現力等)」の三つに分け、学習内容や学習方法をわかりやすく構成しています。 拡大教科書を制作します。
	判型	<ul style="list-style-type: none"> A B判を採用し、写真やイラストを大きくして子どもの興味・関心をひきやすくしました。
	文字・印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> 当該学年以上の担当漢字には、すべてに振り仮名をつけました。 文字は、誰にでも見やすく読みやすい「ユニバーサルデザインフォント(UDデジタル教科書体)」を使用しました。 本文用紙は十分な強度を有する軽量化した再生紙を使用し、表紙にはコート紙を用いて美観のあふれた外観にする予定です。 植物油インキを用いて印刷しました。 製本は堅牢なあじろ綴じとし、開きやすくしました。

2. 対照表

教科書の単元	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時間
◆ 日本の47都道府県を旅してみよう	(1) ア、イ	p.8～p.13	2
1 わたしたちの県	(1) ア、イ	p.14～p.27	8
大単元導入	(1) ア、イ	p.14～p.15	1
1.わたしたちの県のように	(1) ア、イ	p.16～p.27	7
2 健康な暮らしを守る仕事	(2) ア、イ	p.30～p.77	26
大単元導入	(2) ア、イ	p.30～p.31	1
1.ごみのしよりと活用	(2) ア、イ	p.32～p.49	13
学習資料 下水のしよりと再利用	(2) ア、イ	p.50～p.53	-
2.暮らしをささえる水	(2) ア、イ	p.54～p.71	12
学習資料 わたしたちのくらしと電気	(2) ア、イ	p.72～p.75	-
学習資料 わたしたちのくらしとガス	(2) ア、イ	p.76～p.77	-
3 自然災害から人々を守る活動	(3) ア、イ	p.80～p.117	12
大単元導入	(3) ア、イ	p.80～p.81	1
1.自然災害から命を守る	(3) ア、イ	p.82～p.99	11
選択 地震による災害	(3) ア、イ	p.100～p.105	-
選択 津波による災害	(3) ア、イ	p.106～p.111	-
学習資料 火山による災害	(3) ア、イ	p.112～p.115	-
学習資料 雪による災害	(3) ア、イ	p.116～p.117	-
4 地いきの伝統や文化と、先人のはたらき	(4) ア、イ	p.120～p.167	21
大単元導入	(4) ア、イ	p.120～p.121	1
1.わたしたちのまちに伝わるもの	(4) ア、イ	p.122～p.133	8
2.原野に水を引く	(4) ア、イ	p.134～p.151	12
学習資料 村の立て直しにつくす	(4) ア、イ	p.152～p.155	-
学習資料 自然を守る運動	(4) ア、イ	p.156～p.159	-
学習資料 村を育てる教育につくす	(4) ア、イ	p.160～p.163	-
学習資料 医りようにつくす	(4) ア、イ	p.164～p.167	-
5 わたしたちの住んでいる県	(5) ア、イ	p.170～p.201	21
大単元導入	(5) ア、イ	p.170～p.171	1
1.伝統的な工業がさかんな地いき	(5) ア、イ	p.172～p.179	6
2.土地の特色を生かした地いき	(5) ア、イ	p.180～p.187	6
学習資料 土地の文化財を生かした地いき	(5) ア、イ	p.188～p.191	-
3.世界とつながる地いき	(5) ア、イ	p.192～p.201	8
		計	90